



平成 20 年 4 月 25 日

各 位

株式会社アルプス技研
IR・広報室

平成 20 年 12 月期第 1 四半期業績の概況について

株式会社アルプス技研の平成 20 年 12 月期第 1 四半期(平成 20 年 1 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)業績の概況につきまして下記ご説明申し上げます。

【Ⅰ】連結業績

(1) 連結業績の主要数値 (金額は万円未満切捨て、増減率は小数点第一位未満四捨五入)

		[前年同期比]
売上高	57億6,358万円	9,835万円増、1.7%増
営業利益	3億8,799万円	7,962万円減、17.0%減
経常利益	3億9,776万円	6,372万円減、13.8%減
四半期(当期)純利益	2億7,136万円	725万円増、2.7%増

(2) 連結事業のセグメント別売上 (金額は万円未満切捨て、増減率は小数点第一位未満四捨五入)

		[前年同期比]
アウトソーシングサービス事業	56億8,238万円	2億603万円増、3.8%増
その他事業	8,120万円	1億767万円減、57.0%減

当期連結売上高は前年に縮小したアルプス技研の「モノづくり事業」に起因した「その他事業」売上減(57.0%減)が影響し、1.7%増になっております。

利益面では、アルテックシャイン(台湾)やアルネス情報システムズの昨年度の大型受注による反動減と、昨年 10 月より本格的に採用を開始したアルプスビジネスサービスの外国人技術者に関わる先行コスト負担などにより、前年同期に比べ営業利益は 17.0%減、経常利益は 13.8%減になっております。

一方四半期(当期)純利益は、特別利益として関係会社株式売却益(5,100 万円)等があり、前年同期に比べ 2.7%増となっています。

以上のように四半期(当期)純利益を除いて増収・減益となっておりますが、期初予想との対比では、ほぼ予想通りの進捗状況にあります。

【Ⅱ】個別(アルプス技研)業績

(1) 個別(アルプス技研)業績の主要数値 (金額は万円未満切捨て、増減率は小数点第一位未満四捨五入)

		[前年同期比]
売上高	46億5,942万円	1億9,442万円増、4.4%増
営業利益	3億9,632万円	4,616万円増、13.2%増
経常利益	4億2,711万円	4,285万円増、11.2%増
四半期(当期)純利益	2億6,203万円	4,687万円増、21.8%増

(2) 個別(アルプス技研)事業のセグメント別売上(金額は万円未満切捨て、増減率は小数点第一位未満四捨五入)

		[前年同期比]
アウトソーシングサービス事業	46億2,791万円	2億7,595万円増、6.3%増
その他事業	3,150万円	8,153万円減、72.1%減

株式会社アルプス技研

個別売上高の99.3%を占める技術者派遣を主流とした「アウトソーシングサービス事業」の売上高は、前年同期に比べ派遣稼働時間が減少しましたが、稼働人数増と単価アップによって6.3%増となっています。しかしながら連結業績にてご説明申し上げましたように、前年同期に比べ、前年に縮小した「モノづくり事業」に起因した「その他事業」売上は72.1%減になっており、個別総売上高は前年同期に比べ4.4%増になっております。

「その他事業」より利益率の高い「アウトソーシングサービス事業」の増収によって、前年同期に比べ営業利益は13.2%増、経常利益は11.2%増、また四半期(当期)純利益につきましては21.8%増となっております。

期初予想との対比では、個別業績につきましてもほぼ予想通りの進捗状況にあります。

(3) 売上上位100社における主要業種別売上構成 (金額は万円未満切捨て、増減率は小数点第一位未満四捨五入)

	売上高		売上高構成比	
		前年同期比	今期	前年同期
自動車(完成車)	3億723万円	+20.2%	8.2%	7.2%
自動車関連(機器・部品、ナビ・オーディオ)	7億683万円	△16.7%	18.9%	24.0%
精密機器	8億6,066万円	+7.2%	23.1%	22.7%
総合家電	5億5,988万円	+34.9%	15.0%	11.7%
半導体	4億7,744万円	+17.7%	12.8%	11.5%
情報・通信	1億907万円	△7.2%	2.9%	3.3%
携帯電話	9,428万円	△14.1%	2.5%	3.1%
ソフトウェア	1億6,014万円	△3.2%	4.3%	4.7%
上記以外(航空、環境機器他)	4億5,732万円	+9.3%	12.3%	11.8%
合計	37億3,288万円	+5.5%	100.0%	100.0%

総売上高の前年同期比4.4%増に比べ、売上上位100社売上高合計のそれは5.5%で、総売上高に占める割合は前年同期の79.2%から80.1%となり、「事業の選択と集中」による大手取引先への売上増が顕著になってきました。

業種別では自動車は依然高い成長率を維持し、またデジタル家電の設計・開発に凌ぎを削っている総合家電メーカーに対する売上はかなり高い成長率になっています。

(4) 派遣稼働率、派遣稼働工数、派遣単価

	平成20年第1四半期	平成19年第1四半期
派遣稼働率	96.1%	96.1%
派遣稼働時間	175.1時間/月	176.8時間/月
派遣単価	3,658円/時間	3,576円/時間

【Ⅲ】 第2四半期以降の当社活動について

今年4月に入社した新卒者は202名でした。不確実性が増してきた世界経済にあってわが国経済も「踊り場」的環境となりつつありますが、当社業績に影響が表れるとしても下期(7月～12月)になるだろうと想定しています。従いまして今期中間期(平成20年1月1日から6月30日まで)の業績予想は、期初(平成20年2月13日)に発表しました業績予想数値から変更はございません。

(ご参考)今期中間期(平成20年1月1日から6月30日まで)の業績予想

【連結】		[前年同期比]
売上高	118億4,000万円	7億1,800万円増、6.5%増
営業利益	7億1,000万円	1億1,000万円減、12.5%減
経常利益	7億3,000万円	8,900万円減、10.9%減
当期純利益	4億1,000万円	1億4,000万円減、25.6%減

【個別】		[前年同期比]
売上高	97億8,000万円	6億7,700万円増、7.4%増
営業利益	7億3,000万円	2,800万円増、3.9%増
経常利益	7億8,000万円	2,800万円増、3.6%増
当期純利益	4億5,000万円	増減なし、0.0%

注)上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上